

## 2013 年厚生労働科学研究費補助金（厚生労働科学特別研究事業）「東京電力福島第一原発作業員の甲状腺の調査等に関する研究」（研究代表者 祖父江友孝）のデータ移送について

2013 年厚生労働科学研究費補助金（厚生労働科学特別研究事業）「東京電力福島第一原発作業員の甲状腺の調査等に関する研究」（研究代表者 祖父江友孝）において収集した甲状腺超音波検査などの情報（個人情報つき）を、労災疾病臨床研究事業費補助金研究（14090101）「東電福島第一原発緊急作業従事者に対する疫学的研究」（略称：NEW Study）に移管するため、自治医大から放射線影響研究所へデータ移送します。

データ移送に際しては、自治医科大学、放射線影響研究所の倫理審査委員会の承認を得ています。上記研究班の主任研究者として、データ移送にかかわるオプトアウト公開文書を、本ホームページにおいても掲示します。

大阪大学大学院医学系研究科環境医学教授 祖父江友孝

本件に関する問い合わせは以下をお願いします。

担当者：祖父江友孝 または 安藤絵美子 大阪大学大学院医学系研究科環境医学

電話：06-6879-3922

### 【自治医科大学におけるオプトアウト公開文書】

#### 臨床研究に関する情報公開について

研究課題名	東京電力福島第一原発作業員の甲状腺の調査等に関する研究
研究機関の名称	自治医科大学臨床検査医学
研究責任者の氏名	谷口 信行
研究対象	平成 26 年 1 月から平成 26 年 3 月までに、「東京電力福島第一原発作業員の甲状腺の調査等に関する研究」に参加され、甲状腺超音波検査を行った東京電力とその協力会社の社員の方。
研究の目的・意義	平成 26 年に表題の研究として原発事故に伴う緊急作業に関わられた方と、そうでない方を比較することで放射線ばく露による甲状腺への影響を調べました。その後、同じ方々を対象としたより幅ひろい研究として、「東電福島第一原発緊急作業従事者に対する疫学的研究（大久保班）」が組織され、研究が継承されています。そこで、本研究でえられた貴重なデータを、「東電福島第一原発緊急作業従事者に対する疫学的研究」に提供することで、緊急作業員への今後の放射線の影響について、より詳細な解析を行うことができます。
研究方法	平成 26 年に東京電力とその協力会社の社員を対象とした甲状腺超音波検査を行いました。その所見により精密検査の必要な方については、医療機関での精密検査をお勧めすることで、甲状腺疾患の有無の情報を得ました。これらの平成 25 年度の研究でえられたデータを「東電福島第一原発緊急作業従事者に対する疫学的研究（大久保班）」に提供・継承することで、その後の緊急作業員でも甲状腺疾患の発症などについての検討精度を高めることがで

	きます。
研究期間	この研究は、平成 26 年 1 月 9 日から平成 30 年 3 月 31 日までであり、期間中に提供する。
研究に利用する情報	<p>「東京電力福島第一原発作業員の甲状腺の調査等に関する研究」に参加された緊急作業従事者 627 人とそうでない方 1437 人で、提供する情報は、氏名・中央登録番号・甲状腺超音波検査調査票、甲状腺超音波検査結果記入書（報告書）、甲状腺検査結果です。</p> <p>なお、上記の研究に参加された方でも、既に研究での利用を拒否された方については、提供いたしません。</p> <p>参加者が提供対象となることを拒否された場合は対象から外させていただきますので、下記研究責任者までご連絡ください。ただし、連絡をいただいた時点で既に解析がおこなわれていたり、あるいは研究成果が学会・論文などで発表されていたりする場合には、対象から外すことはできません。ご了承ください。なお、提供することに拒否された場合でも不利益を受けるようなことは一切ありません。</p>
研究に関する情報公開の方法	対象となる方のご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、両研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。
個人情報の取り扱い	<p>本研究で得られたデータは、東電福島第一原発緊急作業従事者に対する疫学的研究の研究班（放射線影響研究所 大久保利晃班）より配布の、デジタル証明がインストールされた PC（臨床検査医学講座研究室内、パスワードあり）上で送信します。その際、授受記録を作成し、授受記録は研究終了後 3 年間、保管します。</p> <p>研究班で管理する電子情報については、施錠可能な部屋に設置された専用サーバに保存し、パスワードを設定し許可された者のみが操作します。情報は原則として研究期間（当面の計画として 30 年間）が終了するまで保存します。保管された情報は、放影研で匿名化のデータ処理をしたうえで、電子媒体または放影研のファイル送受信システムを通じて甲状腺がん調査分科会（大阪大学）へ提供されますが、連結のための対応表は提供されず、放影研で厳重に保管します。</p> <p>なお、研究成果は、個人を特定できないようにして学会発表や論文などで報告します。</p>
研究組織	<p>提供する研究組織：自治医科大学臨床検査医学 谷口信行</p> <p>提供を受ける研究組織：公益財団法人 放射線影響研究所 顧問 大久保利晃</p>
問い合わせ先および苦情の窓口	<p><b>【研究責任者】</b></p> <p>自治医科大学臨床検査医学講座</p> <p>教授 谷口 信行</p> <p>〒329-0498 栃木県下野市薬師寺 3311-1</p>

	電話：0285-58-7386 <b>【苦情の窓口】</b> 自治医科大学臨床研究支援センター臨床研究企画管理部管理部門 電話：0285-58-8933
--	---

【放射線影響研究所におけるオプトアウト公開文書】

指針に基づく情報公開

放射線影響研究所では、個人情報保護法に基づく研究倫理指針を遵守し、この研究については、対象となる方のお一人ずつに直接説明を行い同意を得る代わりに、情報を公開することにより試料・情報を利用させていただいています。

研究成果は学会や学術誌等で発表されますが、お名前、ご住所などの情報が公表されることはありません。

ご自身または代諾者等が、試料・情報をこの研究に使用してほしくないと思われる場合、研究計画の概要をご覧になりたい場合、その他研究に関することは「問い合わせ先」へご照会ください。ご照会された場合でも、なんら不利益を受けることはありません。

研究計画書番号	RP1-18
研究課題名	平成 25 年度厚生労働科学研究費補助金特別研究事業「東京電力福島第一原発作業員の甲状腺の調査等に関する研究」の情報移管に係る計画書(RP6-15「東電福島第一原発緊急作業従事者に対する疫学的研究」の補遺)
研究責任者(所属)	大久保利晃(放射線影響研究所)
試料・情報の利用目的及び利用方法	<p>利用目的：平成 26 年 1～3 月に、平成 25 年度厚生労働科学研究費補助金特別研究事業研究班(大阪大学、自治医科大学他)により「東京電力福島第一原発作業員の甲状腺の調査等に関する研究」として、原発事故に伴う緊急作業に関わられた方および緊急作業には携わられなかった東京電力とその協力会社の社員の方を対象に、甲状腺超音波検査を実施し、結果を比較することで、放射線ばく露による甲状腺への影響を調べました。その後より幅広い研究として、平成 26 年 1～3 月の研究に参加頂いた方を対象に含む、「東電福島第一原発緊急作業従事者に対する疫学的研究(統括研究機関放射線影響研究所)」が組織され、研究が継承されています。そこで、平成 26 年 1～3 月の研究で得られた貴重なデータを「東電福島第一原発緊急作業従事者に対する疫学的研究」に移管し、今後の放射線被ばくの甲状腺への影響の検討に用いることを目的としています。</p> <p>利用方法：平成 26 年 1～3 月に甲状腺超音波検査を受けられた 2,064 名から、既に甲状腺に関する情報の研究での利用を拒否された方を除き、自治医科大学から放射線影響研究所への情報提供について拒否の意思を示して</p>

	いない方の情報を、現在情報を保有している自治医科大学から放射線影響研究所へ移管します。移管された情報は、施錠可能な部屋の施錠可能な保管庫の中に収納し、厳重に管理します。
他の機関への提供の有無	<input type="checkbox"/> 有（提供先機関： ）
	<input checked="" type="checkbox"/> 無
利用し、又は提供する 試料・情報の項目	利用する情報 自治医科大学が保有する情報：氏名、中央登録番号、甲状腺超音波検査調査票、甲状腺超音波検査結果記入書（報告書）、甲状腺検査結果
利用する者の範囲	提供する研究組織：自治医科大学 谷口信行 提供を受ける研究組織：放射線影響研究所 大久保利晃 喜多村絃子
試料・情報の管理に責任を 有する者の氏名又は名称	大久保利晃（放射線影響研究所）
統括個人情報保護管理者	放射線影響研究所 業務執行理事 児玉和紀
問い合わせ先	研究担当者 氏名：喜多村絃子 公益財団法人 放射線影響研究所 臨床研究部 緊急作業従事者健康調査室 住所：広島市南区比治山公園 5 番 2 号 電話：082-261-3131